

# 求める会ニュース No. 957

9月全体会報告

9月19日(水) 10:00~12:30

## 検討事項

### 1. 収穫感謝祭の持ち方について

- ・(人手がかからないようにマルシェ形式の提案) 豚汁を続けるのは、高齢化、人手の面で限界。野菜、手作りのお菓子などいろいろなものを持ち寄って、人に来てもらうマルシェ(マーケット)方式の感謝祭を提案したい。喫茶はする。ソーセージ、パン、有機の材料を使ったお弁当(業者に頼む)などを食べる場所を作って、食べてもらう。
- ・会員の一品持ち寄りというのはどうか。  
→あらかじめ作っておくものは、ウェルシュ菌など衛生上の問題もある。
- ・体力・気力に個人差もあるし、もっと情報を集めて、10月全体会で方向を決めたい。

### 2. あしの会との連携周知について

- ・配送を頼んでいる「あしの会」について、理解していない会員もいる。全体会にも地域集会にも出てこられない会員にどう知ってもらうか、周知の方法を考えてもらいたい。
- ・もっと頻繁にニュースやチラシなどで知らせる。
- ・日ごろ意見を聞けない会員に電話をして、求める会やあしの会について話を聞きたい。

## 報告事項

- ・本年度活動予定の半期の報告→内容に

ついては3面参照

- ・10月1日(月)「おいしいね!」が育てる元気Ⅲの味噌開き  
参加希望者は現在5人。お手伝いできる人募集。大徳醤油の醤油キットの紹介もしたい。

【生産者担当】・9月のコンテナ数 大52、小161、計213

(野菜) 畑のようす: 9月から端境期に入ったが、夏野菜は終わりになり、連日の雨で、秋・冬野菜の作付けも遅れている。9月中、あしの会の野菜をお願いしているが、10月半ばまで延長するかもしれない。

- ・7、8月の大雨、台風で夏野菜が水に浸り腐って出荷できなかった(一色さん、橋本さん)。新しいビニールハウスが風で壊れ、使えない(橋本さん)
- ・市島との話し合い 9月27日(木) 13時半、ライフピア市島  
(卵) 暑さのため産卵は活発ではない。  
(米)・池野さん…土砂が入って8反の圃場が使えなくなり、収量は今年の半分になる。
- ・高木さん…台風で堆肥舎の屋根が壊れビニールシートで覆っている。
- ・求める会特別会計より、市有研の二人、池野さん、高木さんに各5万円のお見舞金を支出することが了承された。  
(牛乳)「みんなの低温殺菌牛乳協会」の新年度会員、サポーター更新
- ・現在は丹波乳業(株)が生産しているが、

株式会社のため、みんパスと認識のずれが生じてきている。みんパスは低温殺菌牛乳の生産を続けられるよう、宣伝活動をしている。活動を支えるためにサポーターをお願いしたい。

【会員担当】入会1名、退会1名、会員数212名

【事業部担当】即売会の品物＝山口さんのスタチ、庄内ファームのただちゃ豆、豆腐類、塩干物、パンなど

【広報・庶務担当】9/26 ニュースの印刷

【学習研究担当】9/30（日）大豆畑トラスト収穫祭

【会計担当】10/9 13:00～ 会計監査

【渉外】12/8 日有研の全国大会に向けたイベント part II

日本有機農業研究会/関西の集い

**お知らせ** 10/17（水）全体会 司会・花岡 当番・村川、今田



## 種子（たね）があぶない！

～日本の食料主権を守るために～

今年3月、種子法が廃止された。種子法（＝主要農作物種子法）とは、私たちはあまり聞きなれないが、1952年に戦後日本の食料安全保障の土台を支える法律として制定され、それによって、米、麦、大豆（主要農作物）の品種の維持・開発が公的機関に限定され、優良な種子の普及が義務付けられ、低価格で農家に供給されてきた。それがなぜ廃止されたのか、廃止されるとどういった問題が起こるのか、安田節子氏の講演（8月25日兵有研HOASの総会記念講演）を主にまとめてみた。

### <廃止の経過>

2016年9月「規制改革推進会議」（内閣府直属の機関）設置。TPP協定とTPP日米合意に基づき設置された。合意の内容は、外国投資家などの意見・提言に従って日本は必要な措置をとる、という内容のもの。それを受けて「規制…会議」から廃止法の提案が出された。

2017年3月 種子法の廃止法が成立（自・公・維新が賛成）。

2018年3月 種子法廃止。

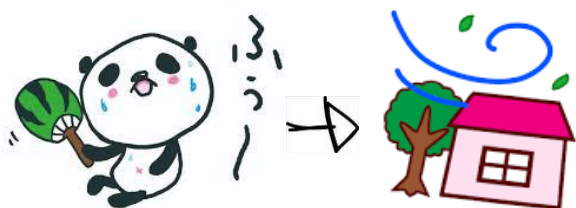
### <なにか問題か>

種子法廃止に先立ち、「農業競争力強化支援法」（2017/8月施行）が制定され、競争力を強化するという理由で、今まで公的に蓄えてきた多様な種子と情報を民間企業に提供する義務が課せられた。民間企業とは日本企業に限らない。モンサント（バイエルと合併）・デュポン（ダウと合併）・ケムチャイナ（シンジェンタを買収）など多国籍巨大企業の参入の窓口も開く。巨大企業にとって効率的な大量生産のためには多様な種子は邪魔で、少品種に集約され、長い期間に開発され日本の地域に合った多様な品種の選択肢はなくなる。

また、独占されていく種子の値段は企業の言うままに高騰、農家の自律性が奪われ、気が付いたら遺伝子組み換え種子と農薬と肥料をセットで売る巨大企業からしか種が買えない状態になってしまうのではないかと、そして、その流れは日本の「食料主権」が失われるという事態に行きつくとも危惧されている。

いまこの流れを止めるために、①もう一度種子法を復活させよう ②県の種子供給体制を維持する県条例制定を呼びかけよう、という運動がある。新潟、兵庫、埼玉、滋賀、長野、北海道が自治体独自で原種の保管と新たなルールづくりを検討する方針を明らかにしている。この動きに私たちも関心を寄せ、支持したい。（鶴甲団地G 飛田みえ子）

## 前半期の活動報告



これまでに経験したことがない酷暑を何とかやり過ごしたところへ、こんどは大型台風が連続して襲来し、生産者に大きな被害をもたらした半年でした。会員は年齢のせいで「雨ニモマケズ、風ニモマケズ、雪ニモ夏ノ暑サニモ

マケヌ 丈夫ナカラダ」(宮沢賢治)というわけにはいかなくなったものの、一同元気に活動中です。(下線部分は総会資料の引用で、今後の報告予定と重複しない内容を取り上げました。)

### 行事の簡素化

収穫感謝祭や総会などの行事は、準備段階はもとより当日も参加できる会員が減少している。人手が少なくてもいいように、行事の持ち方を簡素化するにはどうすればいいかを話し合っています。詳しくは、4面の収穫感謝祭の案内を見てください。

### 会のこれからをどうするか

10月の前期の会計監査の結果を見ながら、そして会員の皆さんの活動できる余力をはかりながら、「求める会」のこれからを12月からの全体会のテーマに上げていく予定です。前半期に話合えていない項目です。

### 提携の活動を広げる

提携を広げるためにPGSを日本有機農業研究会が実施する。「求める会」の基本的な考え方である提携を大事にする運動であり、参加を検討する。これまでPGS(参加型推奨システム)の説明をしてきました。今後は会としての参加を検討していきます。

代表 大野貞枝

\*野菜端境期には乾物を利用しましょう\*

### きのこ切干大根の中国風炒め

好みのきのこ……150g  
豚バラ肉……80g (1cm幅に切る)  
切干大根……25g  
ねぎ……1/2本(斜め薄切り)  
ニンニク……1片(みじん切り)  
①しょうゆ…小さじ2/3 酒…小さじ1  
かたくり粉…小さじ1  
②オイスターソース…小さじ1/2  
チキンスープ(顆粒)…大さじ2(表示どおりの水で溶いておく)  
しょうゆ…小さじ1.5  
ザーサイ(みじん切り)…30g

ごま油…小さじ2 塩・黒コショウ  
細ねぎ(小口切り)…各適量

- ① 切干大根は5分ほど水で戻し水気を絞る。豚肉は②で下味をつけておく
- ② ①を混ぜ合わせておく
- ③ フライパンにごま油、ニンニクを入れ中火にかける。香りが立ったら①の豚肉を入れ炒める。肉の色が変わったら切干大根を加えサッと炒める
- ④ ねぎ、食べやすい大きさにしたきのこを加え、火が通ったら②を加えて汁気が無くなるまで炒める。塩コショウで味をととのえる。
- ⑤ 器に盛り、細ねぎを散らす。

(NHKTV「あさいち」より)

## 10月のカレンダー



10月10日(水) 部会  
 10月17日(水) 全体会  
 10月20日(土) 共同購入申込締切日  
 10月22日(月) 自動引き落とし日  
 10月24日(水) 食料環境セミナー

### 10月全体会議題

- ・収穫感謝祭をマルシェ(市場)の形式にすることについて
- ・地域集会について

### 今年の収穫感謝祭

日時: 11月17日(土) 10:30-14:30

会場: (公財)神戸学生青年センター

今年は、会員の手をできるだけかけない収穫感謝祭にしようと、マルシェ(市場)形式にして、生産者に来店してもらうことで話をすすめています。

グループであるいは個人で、「おにぎりをできる範囲で握って売ろうよ」とか、「求める会の豚汁を20-30人分なら作りたいわ」という会員の皆さんからの申し出も歓迎! 有機野菜を使ったお弁当や、午後は映画祭などどうかしらと検討しており、10月部会、全体会で相談して決めますのでご意見お寄せください。チラシは10月末発行のニュースに同封します。

### 大豆の収穫祭について

大豆畑トラストの大豆収穫祭が11月25日(日)に神埼郡市川町の永菅さん(若手生産者)の畑であります。詳細については後日チラシでお知らせします。

みんなの低温殺菌牛乳協会から、2018年度の会員(年会費3000円)、サポーター(年会費1000円)の更新をお願いします。氷上パスマルクがこれからも続いていくように応援お願いします!(振込か飛田さんに手渡しでも可)

### あしの会の台風被害

9/6夕方ようやく電力が回復し、停電の間はスタッフの方々の工夫・努力と冷凍車のレンタカーなどを利用して乗り切れ、配送もストップはなかったそうです。

### 食料環境セミナー

#### 「最大未利用資源 昆虫の活用」

10月24日(水) 10:30~12:00

神戸大学名誉教授 竹田 真木さん

会場: 神戸学生青年センターホール

参加費: 600円

【訂正】ニュースNo.956(9月号)1面、参加者に「ひろめる会」とあるのは「つどいの会」の誤りでした。お詫びして訂正します。



## 秋の地域集会

お近くの会場にご参加ください

地域	日時	会場	連絡先
宝塚	10月30日(火) 10:00~12:00	宝塚教会会議室 阪急逆瀬川駅北西500m	今田
尼崎・西宮・芦屋	10月25日(木) 10:00~12:00	西宮市中央公民館403号 阪急西宮北口駅南出口徒歩1分	池田
東灘・灘・中央	10月31日(水) 10:00~12:00	神戸学生青年センター会議室D 阪急六甲駅北東3分	岡部
兵庫・長田・北区	10月26日(金) 14:00~16:00	湊山地域福祉センター 神戸駅⑦バス 石井橋下車	明松
須磨・垂水・明石・加古川・高砂	10月26日(金) 10:00~12:00	アスパア明石 701A JR・山陽明石駅 東南へ徒歩3分	村川

★学習資料「ファイトケミカル(機能性成分)」は集会当日配布。収穫感謝祭にも手を加え展示。